



中央小だより

令和6年12月No.7
旭市立中央小学校
児童数 634名



本気だから、楽しい！

自分で考えるから、楽しい！

校長

10月17日(木)に運動会を行いました。

目指したのは、子どもたちに運動する「楽しさ」を味わわせること。ここでいう「楽しさ」は、①力いっぱい運動することで得られる高揚感や爽快感、②積極的に友達と関わり合う一体感、③主体的に活動に関わることで生まれる自尊感情など、様々な感情の総和をイメージしています。

運動会の成功に大きな役割を果たしてくれたのは応援団でしょう。9月17日に結団式を行ってからの1ヶ月、自分たちの練習はもちろん、各学級を訪問しての応援指導等に正に「積極的に関わり」「主体的に」取り組んでくれました。その結果、応援席には一体感が生まれていました。それを象徴するのは応援合戦でしょう。紅も白も甲乙付けがたい素晴らしい応援が繰り広げられました。

閉会式で結果発表のあった後の、勝者である紅組の喜びが爆発した表情はもちろん想定内でしたが、白組の落ち込みようには私自身言葉を失いました。

ただ、子どもたちが本気で取り組んできたからこそ、喜びが爆発したり、悔しさでうつむいてしまったり、という行動が起こったのだと思っています。

11月21日(木)には、学習発表会「中央フェスティバル」を行いました。これまでの音楽集会に代えて、音楽に特化しない発表会にしました。

1年生から3年生は学年ごとの発表でした。音楽を中心とした低学年らしい微笑ましく、かわいらしい発表でした。

4年生から6年生までは学年の枠を取り払った縦割りチームによる発表を行いました。目指したのは、クオリティではなく、①自分たちで決めて、②チームで力を合わせて形にし、③表現すること。従来の「クラブ活動」の一層の充実です。

最初に6年生がどんな発表ができるかを考えてジャンルを決め、そこに興味のある子どもたちが集まります。劇、マジック、スポーツ、動画制作、クイズ、イラスト、音楽、なわとび、工作、ダンスなどなど、それぞれが趣向を凝らした、笑いあり感動ありの発表会になりました。

発表のスタイルとしては初めての試みであり、運営上の課題はありましたが、事後アンケートでは子どもたちから絶大な支持を得ました。6年生がリーダーになってチームを引っ張り、みんなで協力し創り上げたからこそその満足感なのでしょう。

中央小の二大行事である「運動会」「学習発表会」を通して、子どもたちの「力」を見せつけられた思いです。本当に素敵な子どもたちです。

お知らせ

栄養教諭の食育指導

旭市第一給食センターの栄養教諭2名の先生方が、6月から11月までの間に各学級2回訪問し食育指導を行ってくれました。給食は、成長に必要な栄養のバランスを考えて作られていることなど、学年によって分かりやすい内容の食育指導をしてくださいました。他にも、給食チャンネルの動画を作成し、食育指導を進めてくれています。

旭市のHPには、「学校給食おすすめレシピ」も載っているので、ぜひご覧ください。



能楽教室



12月3日(火)に、5・6年生を対象として、能楽教室を実施しました。

能のことについて学んだ後、能の動きを教えてもらい実際にすり足や扇子の代わりにうちわを使って能の動きを体験しました。

2年生 芋掘り体験

11月14日(木)に旭農業高等学校の皆さんにお手伝いいただきながら、2年生が春に植えたサツマイモを収穫するために芋掘り体験を行いました。

農業高等学校の皆さんが下準備をしてくださったので、子どもたちは楽しく芋掘りを体験できました。夏の暑さのためかあまり大きなサツマイモは収穫できませんでした。農業高等学校の皆さんが学校で収穫した大きなサツマイモを分けてくださり、子どもたちは大満足でした。



芸術鑑賞会



12月6日(金)に低学年高学年に分かれ芸術鑑賞会を体育館で行いました。

今年度は和太鼓による、迫力のある演奏を身近で感じながら鑑賞しました。

また、鑑賞会の後半には、体験教室も行われ、各学年の代表児童がステージ上がり、リズムを覚えて和太鼓をたたいてみました。他の児童もリズムに合わせて手拍子で参加しました。

ホームページでは、学校だよりをカラーでご覧いただけます。

右のQRコードもご活用ください。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/index.html>

